

器 48 注射筒
高度管理医療機器 単回使用クラスⅢ処置キット 33961003
アメジスト ワンウェイ 処置用キット

再使用禁止

【警告】

◆取外し可能な皮膚ステープル

1. 1 人の患者にのみ使用すること。
2. 再加工および再滅菌はしないこと。[製品の機能を損なう恐れがある。]
3. 本品の創閉鎖への使用に先立ち、スキンステップラーの使用にかかわる外科的手順と手技について熟知していること。
4. ドレナージおよび感染創又は汚染創の閉鎖を行った後は、慎重に必要な外科的処置を行うこと。[細菌汚染が存在する場合はいかなる異物も感染を増悪させる可能性がある。]

◆滅菌済み絹製縫合糸

使用方法

1. 使用部位によっては創傷裂開の危険があるので、使用者は外科的手法、テクニック及び縫合糸について熟知していること。
2. 適切な品種選択を行い、通常の外科手順に従って使用すること。
3. 使用目的に応じて、糸は十分な長さとし太さのものを選択すること。
4. 汚染あるいは感染した創傷部位に使用する場合は、適切な外科的処置を行うこと。
5. ほかのあらゆる異物の場合と同様、縫合糸が尿管や胆管内の塩類と長時間接触すると結石が形成されることがあるので注意すること。

◆単回使用メス用刃

◆単回使用メス

非常に鋭利な刃物であるため、取り扱いに注意すること。[切傷、穿刺等のおそれがある。]

【禁忌・禁止】

・再使用禁止

・再滅菌禁止

◆取外し可能な皮膚ステープル

1. ステープルを打ち込む皮膚と皮下組織の間に 5mm 以上の間隔がない場合には、皮膚縫合用としては使用しないこと。[皮膚直下の血管、神経等を損傷する恐れがあるため。]
2. 316L ステンレススチールに含まれる金属、すなわちクロム、ニッケル、モリブデン、銅、コバルト、鉄に対して感作またはアレルギー反応を示す患者には使用しないこと。
3. 内部組織の閉鎖には使用しないこと。本品は皮膚縫合用のみに使用すること。
4. 患者にステープルを装着した状態での MRI (磁気共鳴画像診断装置) による検査は安全性の確認がされていないので行わないこと。

◆滅菌済み絹製縫合糸

適用対象(患者)

- 1) 本品に感作又はアレルギーを示す患者には使用しないこと。

使用方法

- 1) 本品は非吸収性であるが、生体内では長期の分解が進み、徐々に抗張力が低下するので、長期に抗張力を必要とする部位には使用しないこと。

◆手動式生体用洗浄器

本品を気管内異物、娩出児の羊水の吸引以外の用途で使用しないこと。[必要とする性能が得られないため]

◆単回使用メス用刃

◆単回使用メス

本品に感作又はアレルギーを示す患者には使用しないこと。

◆汎用注射筒

造影剤等の高圧注入には使用しないこと。[破損等のおそれがある。]

◆医療ガーゼ

◆コットンボール

◆綿状パッド

体内に留置しないこと。[体内に残存するため]

◆X線造影材入りガーゼ

体内に留置しないこと。[体内に残存するため]

鋭利な刃物を用いる場合は、X線造影系を傷つけないよう慎重に行なうこと。又、器具等を用いて本品を挟む場合は、X線造影系部分以外のガーゼを挟んで使用すること。[X線造影系が切れたり抜け落ちて、体内に残存する恐れがあるため]

X線造影系に電気メス等を近付けないこと。[切断又は引火するおそれがあるため]

◆気管支吸引用カテーテル

カテーテル及び接続箇所のコネクタをアルコール含有薬剤で消毒しないこと。[カテーテルが切断したり、コネクタにひび割れ等が生じるおそれがあるため]

◆洗浄向け泌尿器用カテーテル

カテーテル及び接続箇所のコネクタをアルコール含有薬剤で消毒しないこと。[カテーテルが切断したり、コネクタにひび割れ等が生じるおそれがあるため]

尿路に狭窄のある症例への使用禁止[組織、尿道粘膜の損傷の恐れがあります]。

◆単回使用汎用吸引チップ

MRI などの強磁場を発生させる装置との併用や、強磁場環境下で使用しないこと。[発熱の危険性がある]

◆カテーテルコネクタ

本品に使用されている素材に対し、アレルギー体質又はかぶれやすい患者には使用しないこと。[アレルギー症状を起こすことがあるため]

◆鉗子

◆持針器

◆はさみ

1 汚れ、傷、曲がり、腐食、破損、錆等が認められた場合は使用しないこと。

2. 本品に曲げる、切削・打刻する等の二次的加工（改造）を行わないこと。[破損の原因となるため。]

【形状、構造及び原理等】

1. 本品は処置時に必要とされる構成品を組み合わせて滅菌したものである。

2. 下記構成パーツを必要に応じて組み合わせたものを1パックにした製品である。

取外し可能な皮膚ステープル

医療ガーゼ

X線造影材入りガーゼ

綿状パッド

滅菌済み絹製縫合糸

手動式生体用洗浄器

単回使用メス用刃

単回使用メス

汎用注射筒

単回使用皮下注射用針

気管支吸引用カテーテル

洗浄向け泌尿器用カテーテル

単回使用汎用吸引チップ

コットンボール

カテーテルコネクタ

鉗子

持針器

はさみ

その他処置用具

【使用目的又は効果】

本品は、主に手術時で行う手技に使用する周辺関連器具を、滅菌1パックのオールディスポーザブルにしたキット製品である。

【使用方法等】

1. 本品を開封します。

2. 含まれる構成品及び付属品を、適切な方法で展開してください。

3. 展開した構成品及び付属品の種類、数量がラベル等に表示されている本品の構成内容と相違ないか確認してください。

4. 本品に含まれていない必要な材料等を準備してください。

5. 構成品及び付属品は、医師の判断のもと、実施する手術、手技の手順に沿って、各構成品及び付属品の使用方法、効能・効果の範囲にて使用してください。

【使用上の注意】

＜重要な基本注意事項＞

- ・ご使用前にラベルを点検し、処置を行う上で不足している機器があれば、あらかじめ準備をしておいてください。
- ・構成品及び付属品は、医師の判断のもと、実施する手術、手技の手順に沿って、各構成品及び付属品の使用方法、効能・効果の範囲にて使用してください。
- ・包装を開封したら直ちに使用し、使用後は医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。
- ・本品を落したり、衝撃を与えると破損する恐れがありますので、取扱いに注意してください。

【保管方法及び有効期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- ・水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて保管してください。

＜使用期限＞

- ・製造日より3年（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

大衛株式会社

TEL：06-6921-7373

製造元

大衛株式会社 津工場

TEL：059-234-2529

構成品の【使用方法等】

◆取外し可能な皮膚ステープル

1.縫合方法

1) 皮膚閉鎖時は、創縁を合わせ、わずかに外反させる。2) 1 度カチッと音がするまでハンドルを握るとステープルが装填される。3) ステープルを外反させた創縁にわずかに立てた角度で軽くあてがう。強く押しつけて打ち込むと、ステープルの除去がむずかしくなったり、仕上がりが悪くなることがある。4) ステープルを正確に打ち込むには、ハンドルが止まるところまで完全に握る。5) 手をゆるめてハンドルをもとの位置まで完全に戻す。6) ステイプラーを皮膚面より離し、ステープルが適切に打ち込まれたかどうか常に確認する。不適切な場合は、不適切なステープルを抜去し、ステープルを打ち直す。

2. ステープルの抜去方法ステープルを抜去する際にはプリサイズ TM リムーバー (SR-3)等を用いて抜去する。

◆医療ガーゼ

◆X線造影材入りガーゼ

◆綿状パッド

◆コットンボール

使用目的に応じ、適宜使用する。

◆滅菌済み絹製縫合糸

一般的な縫合方法等による。

◆手動式生体用洗浄器

1) 本体を握り、圧縮した後、解放することで本体の復元力により膿、鼻汁、唾液、生理食塩液等を吸引してください。2) 本体内部に吸引物がある状態で本体を握り、吸引物の排出もしくは目的部位の洗浄を行ってください。

◆単回使用メス用刃

包装を開封して替刃を取り出し、専用ハンドルに取り付けて使用してください。

◆単回使用メス

刃先カバーを外して使用してください。

◆汎用注射筒

本品の包装を開口部より開き、注射筒の方を持ち、包装から取り出します。滅菌されているのでそのまま使用できます。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1.他の医療機器と併用する場合は、確実に接続、又は取り付けられていることを確認し使用してください。2.注射針を接続して使用する場合には、誤って手指等に注射針を刺さないよう取扱いには十分注意してください。3.注射針の装着は無理な力をかけずに行ってください。4.コネクター等と接続する際、筒先に横方向の力を加えないでください。[筒先の湾曲や破損等のおそれがあります。] 5.ロック部ネジを必要以上に回さないでください。6.接続部に薬液、又は血液を付着させないでください。[接続部の緩み等のおそれがあります。] 7.押子は真っ直ぐに引いてください。[斜めに引くと、ガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れ、空気混入、又はガスケットが外れるおそれがあります。] 8.外筒印刷部の目盛を超えて押子を引かないでください。[押子が外筒から抜けて液漏れや空気混入のおそれがあります。]

◆単回使用皮下注射用針

1) 個包装が密封されていることを確認します。
2) 個包装を開封し、注射針を個包装内から取り出します。
3) 注射針をシリンジにしっかり付けます。
4) プロテクタをまっすぐ引いて外し、使用します。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1.誤って手指等に針を刺さないよう取扱いには十分注意してください。2.針基に過剰な負荷をかけないでください。また、接続時はプロテクタで針基に過剰な回転負荷をかけないでください。[針管又は針基が破損するおそれがあります。] 3.使用中に針管が曲がった場合は、過剰な負荷をかけないでください。また、曲がった針管は使用しないでください。なお、一連の繰り返し注射においても十分注意して使用してください。[曲がった方向と逆方向に力がかかり、針管が破損するおそれがあります。] 4.プロテクタを外すときは、針先がプロテクタに触れないよう注意してください。[プロテクタが針に触れると、針先が変形し、穿刺しづらくなるおそれがあります。] 5.針管をバイアルや薬液容器等のゴム栓に穿刺する場合は、なるべく刺通面に垂直に刺し、横方向に力を加えたり、同一部位に穿刺されることのないように注意してください。6.アンプル等の薬

液容器壁面に針管が当たらないよう注意してください。[針先が変形し、穿刺しづらくなるおそれがあります。] 7.接続部に薬液又は血液を付着させないでください。[接続部の緩み等が発生するおそれがあります。] 8.リキャップしないでください。[リキャップ自体に誤穿刺のおそれがあり、また、誤って斜めにリキャップすることで、針先がプロテクタを貫通するおそれがあります。]

◆気管支吸引用カテーテル

1)吸引調節器の吸引圧を調節します。
2)コネクタと吸引調節器を接続管でしっかりと接続します。3)吸引圧の調節は、調節バルブタイプの場合は調節口を指で塞いで調節します。コネクタタイプの場合は、カテーテルとコネクタの接続部でカテーテルを折り曲げて調節します。4) 3)の方法により吸引圧が加わらないようにし、カテーテルの先端を鼻腔に沿って咽頭部まで進めます。口腔内から吸引する場合は十分に開口させ、舌を前に出させます。気管内チューブが挿入されている場合は、カテーテルを気管内チューブに通して挿入します。5)目的の場所にカテーテルを挿入したら、吸引圧を加え、先端をくるくると回しながら吸引します。6)使用後は感染防止に留意して安全な方法で廃棄します。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1.使用前に、カテーテルの太さや長さが挿入部位に適合していることを確認してください。2.他の医療機器と併用する場合は、確実に接続又は取り付けられていることを確認してください。3.接続部への薬液等の付着に注意してください。[接続部の緩み等が発生するおそれがあります。] 4.カテーテル挿入時は口腔、鼻腔等挿入する部位の粘膜への損傷に十分注意してください。5.カテーテル挿入に抵抗がある場合は、カテーテルを抜いて、原因を解消した後、もう一度挿入し直してください。[粘膜損傷を引き起こすおそれがあります。] 6.カテーテルを挿入する際は、挿入部位への入れすぎに注意してください。[カテーテルを抜去できなくなる、又は粘膜損傷を引き起こすおそれがあります。] 7.カテーテルを抜去する際は、ゆっくりと引き抜いてください。[粘膜損傷を引き起こすおそれがあります。]

◆洗浄向け泌尿器用カテーテル

1.導尿に用いる場合

1)包装を開封し、汚染に十分注意してカテーテルを取り出します。

2)カテーテルに潤滑剤を塗布します。3)カテーテルを把持して、尿道口に挿入します。4)尿が完全に流出したら、静かにカテーテルを抜去します。

2.分泌物吸引に用いる場合

1)包装を開封し、汚染に十分注意してカテーテルを取り出します。
2)接続部にコネクタ、又は注射筒をしっかりと接続します。3)目的の場所にカテーテルを挿入したら、カテーテル内に吸引圧を加えると同時に、先端をくるくると回しながら吸引します。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1.接続部への体液や薬液等の付着に注意してください。[接続部の緩みのおそれがあります。] 2.カテーテル挿入に抵抗がある場合は、カテーテルを抜いて、原因を解消した後、もう一度挿入し直してください。3.カテーテルを挿入する際は、挿入部位への入れすぎに注意してください。[カテーテルを抜去できなくなるおそれがあります。] 4.カテーテルを抜去する際は、ゆっくりと引き抜いてください。[粘膜損傷のおそれがあります。]

◆単回使用汎用吸引チップ

1. 使用の準備 1) 包装を開封して本品を取り出し、損傷等がないことを確認する。2) 吸引器やサクシオンチューブの径を合わせ、漏れのないようきつく接続する。3) フレイザーサクシオンハンドルはあらかじめスタイレットが挿入されているため、使用前にスタイレットを抜去する。

2. 使用中 1) 先端部を適用部位にあて、液等を先端開口部又は側孔より吸引する。2) 吸引圧コントロール孔付きのものは、コントロール孔の開閉により吸引調節を行う。

3. 使用後 1) 感染防止に留意し、医療廃棄物として適切に処分する。

◆カテーテルコネクタ

各種の器具類やチューブ類との径を合わせて、カテーテルと吸引調節器を接続管でしっかりと接続してください。

◆鉗子

遠位端の2枚の歯が、臓器、組織又は血管を非外傷性に把持、結合、圧迫又は支持することができる。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

使用前に開閉不良及び異常な磨耗、ひび、錆、腐食等の損傷がない

いことを確認してください。異常が認められた場合は、使用しないでください。

◆持針器

リング状及び2枚のバーハンドルを持つ手術器具です。遠位端から転心までの2枚の刃が縫合時の縫合針をしっかりと把持出来る構造です。

<使用方法に関連する使用上の注意>

使用前に開閉不良及び異常な磨耗、ひび、錆、腐食等の損傷がないことを確認してください。異常が認められた場合は、使用しないでください。

◆はさみ

2枚の刃の間に切断したい物を挟み、ハンドルを握って2枚の刃を閉じて切断します。

<使用方法に関連する使用上の注意>

使用前に開閉不良及び異常な磨耗、ひび、錆、腐食等の損傷がないことを確認してください。異常が認められた場合は、使用しないでください。

構成品の【使用上の注意】

◆取外し可能な皮膚ステープル

1.不具合・有害事象

本品の使用に関連して、次のような不具合・有害事象が考えられる。

1) 創の裂開 2) 316L ステンレススチールに含まれる金属、すなわちクロム、ニッケル、モリブデン、銅、コバルト、鉄に対して感作性を示す患者におけるアレルギー反応 3) 感染の増悪 4) 局所組織の急性炎症反応 5) 創部の痛み、浮腫、紅斑

2. その他の注意

1) 皮膚閉鎖および植皮術以外の用途に使用しないこと。2) ステープルを打ち込む際、ステイプラーを皮膚に強く押付け過ぎないこと。3) 包装容器を開封後は、無菌状態を維持できないので、取り扱いに注意すること。4) 皮膚の閉鎖が確認されたら、放置せず抜鉤すること。

◆滅菌済み絹製縫合糸

1. 使用注意

1) 本品の使用により感作又はアレルギー反応を呈する可能性がある。

2. 重要な基本的注意

1) 医療用の目的以外には使用しないこと。
2) 縫合糸を取り扱う場合、鉗子や持針器などの手術器具で糸を押しつぶしたり器具に糸を絡めたりして縫合糸を傷つけないこと。3) 取り扱い時に糸を傷めないよう手袋、ガーゼ等で摩擦しないこと。4) 外科結び等の適切な方法を用いて結節を行うこと。医師の判断により必要に応じて結節回数を追加すること。
5) 縫合糸の各号数における強度規格値を上回る負荷がかかるような部位や手技には使用しないこと。

3. 不具合・有害事象

本品は使用に際し、以下のような不具合・有害事象が考えられる。

1) 高齢者、栄養状態の悪い患者、衰弱した患者、癌、貧血、肥満、糖尿病、感染等で創傷治癒が遅い患者の縫合不全 2) 全抗張力の経時的漸次消失 3) 創部に一時的な局部過敏状態が惹起されるなど。4) 組織を広範囲にわたり引き寄せなければならないような部位の縫合において、追加縫合等の適切な処置を施さなかった場合の縫合不全 5) 肉芽形成、繊維組織増殖、化膿、出血、造瘻 6)

創痛部の感染 7) 異物反応による組織の炎症 8) 縫合部位には、炎症、出血、組織反応、肉芽組織やケロイドの形成又は組織液の貯留

4. その他の注意

1) 使用後は医療用廃棄物として適切な処理をすること。2) 包装が破損したり、汚染した場合は使用しないこと。

◆手動式生体用洗浄器

1.重要な基本的注意

1) 本品は医家向け医療機器にて使用目的以外に使用しないでください。
2) 併用する医療機器及び薬剤に関する指示は、その製造販売元の添付文書に従ってください。
3) 包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

◆単回使用メス用刀

◆単回使用メス

<重要な基本的注意>

軟骨・骨などの硬組織には使用しないこと。[刃先が破損するおそれがある。]

◆汎用注射筒

1.重要な基本的注意

1)造影剤等の高圧注入には使用しないこと。[破損等のおそれがある。] 2)シリンジポンプと併用する場合は、本品の製造販売業者に適用の可否について問い合わせること。[外筒や押子がシリンジポンプに正しくセットされないと、過少投与や過量投与、急速注入のおそれがある。] 3)使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、薬液漏れ及び詰まり等について十分注意すること。4)医薬品の種類によっては、本品の外筒の内側に塗布されているシリコーン油が析出することがあるので注意すること。シリコーン油が析出した場合は、適切な処置をとること。5)外筒を強く握る等、圧迫するような負荷をかけないこと。[圧迫によりガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れや空気混入のおそれがある。] 6)外筒印刷部をこすったり、あるいは薬液がついた状態で放置しないこと。[目盛等の印刷部が剥がれるおそれがある。] 7)薬液の吸引後は直ちに使用すること。[薬液が結晶化し、針管に詰まるおそれがある。] 8)運搬・操作時に

は、振動や衝撃に注意すること。9)本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。[破損のおそれがある。]

2.不具合・有害事象

1)重大な不具合

- ・空気混入

2)重大な有害事象

- ・感染

3)その他の不具合

- ・筒先や注射筒の破損、接続部の緩み、液漏れ、摺動抵抗の増加、目盛等の印刷部の剥がれ、シリコーン油の析出

◆単回使用皮下注射用針

1.重要な基本的注意

- 1)個包装を輪ゴムでしばる等の負荷をかけた状態で長期間保管をしないこと。[包装に負荷がかかり、破損するおそれがある。]
- 2)個包装での保管は個包装が経時的に外的環境の影響を受けやすく破損することがあるため、十分注意すること。
- 3)使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、液漏れ及び詰まり等について、十分注意すること。
- 4)本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。[破損するおそれがある。]

◆気管支吸引用カテーテル

1.重要な基本的注意

- 1)脂溶性の医薬品ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出するおそれがあるので注意すること。
- 2)使用中は本品の破損、接続部の緩み、液漏れ及び詰まり等について十分注意すること。
- 3)カテーテルとコネクターの接続部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないように注意すること。[カテーテルの抜け、破損、伸び等が発生するおそれがある。]
- 4)カテーテル挿入時には、歯及び鋭い器具等でカテーテルに傷をつけないよう注意すること。[液漏れや破損が発生するおそれがある。]
- 5)コネクタを他の医療機器に接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。[コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損し、接続部からの液漏れが発生するおそれがある。]
- 6)体動でねじれると流路が閉塞するおそれがあるので注意すること。

2.不具合・有害事象

1)その他の不具合

- ・カテーテルの破損
- ・コネクターの破損
- ・接続部からの漏れ

2)その他の有害事象

- ・鼻腔、口腔、咽頭、気管支等の粘膜の損傷・出血

◆洗浄向け泌尿器用カテーテル

1.重要な基本的注意

- 1)脂溶性の医薬品ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出するおそれがあるので注意すること。
- 2)使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、液漏れ及び詰まり等について、十分注意すること。
- 3)カテーテルが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないこと。
- 4)カテーテルとコネクタ等の接続部には過度に引張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないように注意すること。[カテーテルの抜け、破損、伸び等のおそれがある。]
- 5)導尿に用いる場合は以下の事項を順守すること。
 - (1)カテーテル挿入時は尿道等挿入する部位の粘膜への損傷に十分注意すること。
 - (2)排尿が確認できない場合は、カテーテルが閉塞していないこと及びカテーテルが折れていないことを確認すること。
 - (3)分泌物吸引に用いる場合は以下の事項を順守すること。
 - (1)カテーテルの気管内挿入時には、歯、鼻甲等及び鋭い器具等でカテーテルに傷をつけないよう注意すること。[液漏れ、空気混入や破損のおそれがある。]
 - (2)気管内チューブにカテーテルを挿入する場合は、気管内チューブ内径に合ったカテーテルサイズを選択すること。
 - (3)体動等でねじれると流路が閉塞するおそれがあるので注意すること。

◆単回使用汎用吸引チップ

1.重要な基本的注意

- 1)先端が組織内に埋って吸引できない場合、吸引圧コントロール孔が付いているものは、孔を調節して吸引圧を下げること。
- 2)過度の陰圧で吸引を行わないこと。[組織を損傷する恐れがある。]
- 3)本品の先端を臓器・脈管等に強く押し付けたり、擦り付けたり引っ掻いたりしないこと。[臓器等損傷の危険性がある。]
- 4)フレイザーサクシオンハンドルと電気メスを併用する場合は、メス先端電極をフレイザーサクシオンハンドルに触れた状態で使用しないこと。[フレイザーサクシオンハンドルは、電気を通すため、スパーク発生や臓器損傷、

術者に危害を及ぼす等の危険性がある。]

2. 不具合・有害事象 本品の使用に伴い、以下のような不具合/有害事象の可能性がある。

1) 重大な不具合

- ・吸引不良
- ・漏れ
- ・破損、亀裂、変形
- ・接続不良

2) 重大な有害事象

- ・臓器損傷
- ・体内遺残
- ・感染

3. 相互作用

・MRI などの強磁場を発生させる装置との併用や強磁場環境下で使用しないこと。[発熱の危険性がある]

◆カテーテルコネクタ

1.重要な基本的注意

1)本品は滅菌済み製品であり、1回限りの使用で使い捨て、再使用しないでください。2)包装の破損したもの、開封済みのもの又は水濡れしたものは使用しないでください。3)包装を開封したら、速やかに使用してください。4)接続部は使用中に緩むことがあります。漏れや外れに注意し、締め直し等の適切な処置を行ってください。5)本品は、各種の器具類やチューブ類との接続用コネクタです。他の目的には、使用しないでください。6)全操作中に、穿刺具、メス、はさみ、縫合針等をチューブに接触させないでください。[傷付けて液漏れが生じるおそれがあります。]7)包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

◆医療ガーゼ

◆綿状パッド

◆コットンボール

1.本品の使用は1回限りとし、再使用しないでください。
2.体内に留置しないでください。
3.包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

◆X線造影材入りガーゼ

1.本品の使用は1回限りとし、再使用しないでください。
2.体内に留置しないでください。
3.電気メス等を近づけると、切れたり、発火するおそれがあるので注意して使用してください。
4.包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

◆はさみ

1.重要な基本的注意

使用前に、開閉不良及び異常な磨耗、ひび、錆、腐食等の損傷がないことを確認し、異常が認められた場合は、使用しないでください。

2.有害事象

医療材料及び組織の損傷